

早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業

墨伝う思い 一書を通して知る文人 坪内逍遙

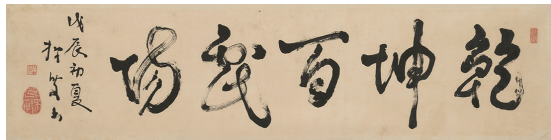
●会 期 1期 12月12日(土) ～ 2021.1月11日(月)祝

2期 2021.1月20日(水) ～ 3月7日(日)

観覧無料

会期中の休館日 12月14日、21日、28日～1月4日、25日
2月1日、8日、15日、22日、3月1日

●会 場 企画展示室



坪内逍遙 乾坤百戯場

文芸、演劇、教育などの多分野で功績を残した市出身の偉人、坪内逍遙(1859-1935年)は、多くの書画を手がけました。この展覧会では早稲田大学、美濃加茂市民ミュージアムで所蔵する逍遙の書を紹介し、また書を通じた人との交流にも焦点を当て、逍遙の文人氣質と枯淡の世界観を探ります。

forum & event

ミュージアムトーク

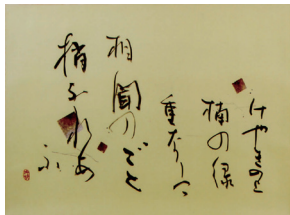
展示室を学芸員がご案内します。

◆日時: 12月12日(土)、1月9日(土)
2月7日(日)、2月23日(火・祝)

①10:00-11:00 ②13:30-14:30

◆会場: 企画展示室 ◆参加料: 無料

新収蔵品展 座馬井邨の書と歌



けやきの上 (自詠)

●会 期 2021.2月6日(土)～3月7日(日)

●会 場 美術工芸展示室 ●観覧料 無料

日展を舞台に活躍した美濃加茂市出身の書家の座馬井邨(1916-2015年)は自詠歌を表した作品を遺しました。また逍遙の書を収集し、当市に寄贈しました。逍遙と同じく書と歌を愛した現代の文人を紹介します。

楽しくなる古文書

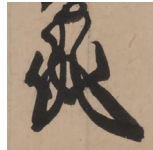
～明智光秀史料を中心に～

4月に予定していた展覧会を日程変更して開催します。

●会 期 12月12日(土)～ 2021.1月24日(日)

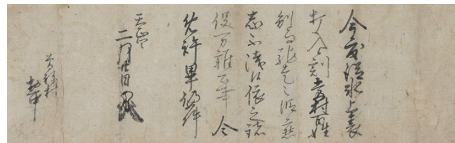
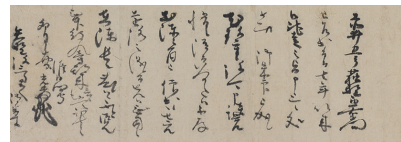
会期中の休館日 12月14日、21日、28日～1月4日、
1月12日、18日

●会 場 美術工芸展示室

●観覧料 200円 かるちすくらぶ会員
及び高校生以下は無料

明智光秀 花押

今話題になっている明智光秀が残した館蔵の史料数点に絞って取り上げ、読み解く方法も紹介しながら古文書の面白さと光秀が生きた世界を楽しんでいただきます。

明智光秀判物 曾祢(曾根) 村惣中宛て
天正4年(1576) 美濃加茂市民ミュージアム所蔵明智光秀書状 矢野弥三郎宛て
年不詳 美濃加茂市民ミュージアム所蔵

forum & event

ミュージアムトーク

～当館学芸員による展示解説～

◆日時 1月13日(水) ①11:00-11:30
*当日受付 ②13:30-14:00

◆会場 美術工芸展示室

◆参加料 無料 (ただし観覧料が必要)



行き		帰リ	
美濃太田駅北口発	文化の森着	文化の森発	美濃太田駅北口着
9:10	9:16	9:53	10:01
10:47	10:53	11:30	11:38
13:30	13:36	14:13	14:21
15:19	15:25	16:02	16:10

運賃 / 一般 100円 中学生以下無料

〒505-0004
岐阜県美濃加茂市
蜂屋町上峰屋3299-1
TEL: 0574-28-1110
FAX: 0574-28-1104

森が大切にしているもの

01

赤く彩色された美しい土器。弥生時代後期から古墳時代初頭にかけて濃尾平野を中心に見られ、愛知県、岐阜県で多くの出土があります。



壺

為岡遺跡(下米田町為岡)

詳しくは、文化の森HP
→データベース→美濃加茂事典
「バレス・スタイル土器」をご覧ください。
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/m_dictionary/details.cfm?id=706&indexkusu=26

MUSEUM NEWS

みのかも文化の森

みのかも文化の森 20周年と、ミュージアムニュース 100号を記念し、今回はおふたりの方々に「ひとこと」寄せていただきました。おふたりには文化の森がオープンする頃に、キャラクターのデザインや、オープニングポスター等のデザインをお願いしました。それ以降も様々な場面で文化の森と深い関わりを持っていただいています。

「みのかも文化の森」によせて

高畠 純 (絵本作家)

思えばこの施設の開館にあたり、魚のネコギギ、大昔すんでいたといわれるサイをシンボルとして描いて、はや20年？坂道を上るアプローチに、それぞれの動物が描かれた青と赤の旗がぼくにとって印象的である。20年といっても、文化の森はいつも新しい感じがする。それはきっと、つねに「今」を感じさせる展覧会であったり、イベントであったりするからであろう。生きている施設として存在する。そして心地よい緑のなかで、なにもしなくてもリラックスできる雰囲気がある。ここにはあるのではないだろうか。

ぼくはクリスマス時期になるとそのオーナメントを作ったりするワークショップを担当し、これまた20年続いている。毎年おとずれてくれる家族もあり、小さな子がどんどん大きくなって、はにかんでいた子がはっきりと自分の言葉で話すのを聞くと、その成長ぶりを我が子のように実感する。この家族にとっても、文化の森は大切な思い出の場所になっているはず。いや、まだまだ思い出は作られていくだろう。この施設が、これからもイキイキと心地よい空間であることを、切に望みます。



2011 おどろきはっけんみのかもの自然展



開館時の正面玄関の看板



ミュージアムニュース0号

みのかも文化の森と私の20年

柳澤 美香 (デザイナー)

20年と数カ月前。私は名古屋芸術大学の学生でした。4年生の卒業制作展で、作品を見た今の館長の可児さんに声をかけられたのが、文化の森との最初の出会でした。10月、新たに開館するミュージアムのオープン告知ポスターや看板などをデザインしてほしいと言われ、飛び上がるほど驚いたのを覚えています。岐阜の自然の中にありながら、文化の森はすごく柔軟で大胆なんです。以来20年、様々な企画のポスターやチラシを作らせていただき、ひよっこ大学生だった私も、3人の子を持つ母親になりました。文化の森では、たくさんの経験とチャンス、スタッフの方々の暖かさ、素敵なものをたくさんもらいました。感謝しかありません。これからも、柔軟さと大胆さ、そして暖かさを持った文化の森であり続けてほしいと思います。



展覧会情報のほか、風景・アート・収蔵資料など、みのかも文化の森の魅力を発信していきます。

Webでも楽しもう！文化の森

【ふらりと展示室】

美濃加茂市民ミュージアムにある常設展示室をWEB上で見られます。気軽に「ふらり」と立ち寄り、気の向くままにページを開いてみてください。そして、何かここで感じたことがあれば、それを確かめにこの展示室や現地を訪れてみてはいかがでしょうか...



文化の森HP <http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>
→ふらりと展示室

【美濃加茂事典】

美濃加茂地域を中心とすることがらを事典形式で解説。

文化の森HP

<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

→データベース→美濃加茂事典



みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム
MINOKAMO CITY MUSEUM

<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

イベント

minokamo city museum



●日時	●名称	●内容	●会場	●参加料	●定員
～ 3/14 (日)	ていねいな暮らしと 道具展	美濃加茂市はもとより近隣各地の方々から寄贈いただいた昔の道具を展示します。今回は、その所蔵品の中から「食」をテーマとして、道具を展示いたします。	民具展示館	無料	—
1/16 (土) 14:00 - 16:00	第 206 回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品：「小太りのおやじ」 群ようこ / 作 『ぬるい生活』より 作品：「鱈のこと」 江國香織 / 作 『やわらかなレタス』より 作品：「猫年の女房」 沢村貞子 / 作 『私の浅草』より ほか 朗読は事前に収録したビデオ上映にて行います	緑のホール	無料	60 名
2/20 (土) 14:00 - 16:00	第 207 回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品：「あわいの花火」 安藤 玲 / 作 作品：「ニューヨーク・大雪とドーナツ」 作品：「ニューヨーク・ぶたの鼻」 江國香織 / 作 朗読は事前に収録したビデオ上映にて行います	緑のホール	無料	60 名
3/13 (土) 14:00 - 16:00	第 208 回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品：「あるはれたひに」 きむらゆういち / 作 作品：「花豆の煮えるまで一一夜の物語」 阿房直子 / 作 朗読は事前に収録したビデオ上映にて行います	緑のホール	無料	60 名

アートな一日講座



●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
1/24 (日) 13:00 - 15:00	スワロフスキーの キーホルダー	スワロフスキーを使った本格的な アクセサリ作りをしましょう。 持ち物：拡大鏡	要 事前申し込み 【 12/10(木)～12/24(木) 】	工芸室	2,000 円	8 名
2/10 (水) 10:00 - 12:00	モザイクタイル	カラフルでかわいらしいタイルを 使ってコースターを作りましょう。	要 事前申し込み 【 12/15(火)～1/19(火) 】	工芸室	600 円	15 名
3/28 (日) ①13:00 - 14:30 ②15:00 - 16:30	陶 芸	手びねりの技法またはろくろで簡単 な器をつくります。出来上がった作 品は、後日お渡しします。(送付の場合 有料) 持ち物：エプロン、タオル	要 事前申し込み 【 2/16(火)～3/2(火) 】 希望の時間帯①②を必ず お知らせください。	陶芸室	1,000 円	各回 8 名

ていねいな暮らし講座

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
3/11 (木) 9:30 - 12:00	春を染める	春の草木で絹布を染めます。 持ち物：エプロン	要 事前申し込み 【 1/20 (水)～2/10 (水) 】	生活体験館	1,000 円	15 名

まゆの家 年中行事 自由観覧	門松立て	12/12 (土)～1/6 (水)	かつてこのあたりでみられた、 簡素な門松を立てます。
	ひなかざり	2/6 (土)～4/3 (土)	土びなをかざり、野山の花を そなえます。



事前申し込み
について

電話、FAXによる受付は行いません。下記のいずれかの方法でお申し込みください。
■文化の森ホームページ講座申込専用フォーム
こちらのQRコードからもお申込みできます。→
■はがき (住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)
■ご来館
※応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果は郵送にてお知らせいたします。



講座にお申し込みいただいた
個人情報、以下の項目のみに
使用します。
1.お申し込みに関する問合せ
2.講座開催に関する連絡
3.抽選結果の通知

ミュージアムレポート

みのかも文化の森は20周年を迎えました

美濃加茂市民ミュージアムは、2000年10月1日に開館し、今年度20周年を迎えました。そこで、10月1日に関係者の方々をお招きして、エントランスホールにて、「20周年セレモニー」を行いました。

式典のオープニングには、2000年開館時にも歌を披露してくださいました山木裕恵さんによる「未来へ」(キロロ)の独唱を、文化の森からの感謝の気持ちを込めてお届けしました。それから、市長からお礼のご挨拶を申し上げ、そして、フォレストくらぶの子どもたちが作成したくす玉を市長、ボランティア代表の方々と一緒に開きました。

エントランスホールでのセレモニーの後、新しくなった常設展示室を学芸員の解説によりご案内しました。

これからも皆様にいろいろな「!」や「?」を提案しながら、生涯にわたって関わるができる博物館を目指していきます。
(A.H)



山木さんの独唱



くす玉でお祝い

じょうせつてんじしつ

常設展示室を「もようがえ」しました

「もようがえ」にあたって大切にしたのは、これまで「発見したモノ」を改めて、しっかりと丁寧にみなさんへお伝えしたい!という思いでした。それらの発見は、私たちが美濃加茂市内や周辺各所を何度も訪ね、地域の方にお話を聞いたり、すばらしいモノをいただいたり、調べたり・・・などで得た積み重ねです。

ならべたものは、ほとんどが本物・実物ばかりです。たとえ小さなものでも、じっくりと見ることで、リアルな存在感を様々な感じていただくことができるようにしてみました。

みなさんがここで、みのかもの一つ一つの本物と出会い、「どんなコト」を自分自身でを見つけ、感じるようになるのか、自由に楽しんでいただければと思います。

さて展示したモノは、もともとみのかもの「現地」にありました。そこは、モノが生まれ育まれた場所であり、その原因や理由もありました。同時に、それぞれを長年調



10月1日の様子



準備風景

べてきた人、大切に守り伝えてくれた人々といった、目立たないながらも強い思いや地道な活動などもありました。

そのことは、目の前に見える展示品の世界の「向こう側」の一つとして、また展示室で思いを馳せる楽しみ方の参考として、心に留めておいてもらえたらと思います。

今回、私たちの思いを伝えるため、またみなさんにより深く展示品を身近に感じていただく「きっかけ」となるような「〇〇ミテ」という「投げかけ」「仕掛け」「ツール」を室内の各所に用意しました。ぜひ試していただきたいと思います。

最後に、展示をご覧になったあとは、「今度こうしてみよう」「現地を訪れてみたい」など、みなさんの日々の暮らしの発想やこの地に住む楽しさに繋げていただければうれしいです。次へのスタートの展示室であれば、と願っています。

(S.F)

